

令和4年第4回定例会 文書質問  
 長澤 こうすけ 議員

回 答 書

I. 出来る水害対策をなぜ始めないのか	
<p>質問の要旨 ①</p>	<p>1. 令和3年第二回定例会において、東京都は豪雨対策アクション・プランを策定し、一部地域で1時間雨量75mm対応を進めており、当区においても、75mm対応など浸水対策の取組強化を要望すべきと質問した。</p> <p>その際、北千住区域が「対策重点区域」に指定され、1時間雨量50mm対応とするため、千住関屋ポンプ所の整備事業等が進められており、まずは、これらの事業の早期完了などを、要望していくとの答弁であった。つまり、現段階ではそれ以上の水害対策は要望しないとの答弁である。</p> <p>しかし、近年、地球温暖化などを理由に東京では1時間50mmを超える豪雨の発生回数が増加するとともに、局地的で短時間に集中するなど、雨の降り方も変化している事は周知の事実であり、足立区民は早急な対策を求めていることはこれまでに一般質問3回、予算・決算特別委員会、災害・オウム対策調査特別委員会でも繰り返し述べてきた。</p> <p>そこで、改めて区として最近の水害に対するリスクの上昇をどのように捉えているのか。また、前回の本会議で、大きな視点で取り組みを進めるべきと質問したが、区部で組織している特別区下水道事業促進連絡会などを利用して、他区とも連携しながら東京都に対して、75mm対応などの要望をする必要があると考えるが、区として今後どのように取り組むのか伺う。</p>
<p>回 答 ①</p>	<p>区として最近の水害に対するリスクの上昇をどう捉えているか、また、大きな視点で取り組みを進めるべきとのご質問についてお答えいたします。</p> <p>近年、豪雨による被害が頻発化及び激甚化し、浸水被害のリスクはこれからも高まっていくことが予想されると認識しております。</p> <p>過去にもご指摘いただいた、東京都が進めている1時間雨量75mm対応地域の拡大につきましては、貯留施設等の整備を含め、「特別区下水道事業促進連絡会」において、23区で連携して要望していただくことを提案してまいります。</p>

	<p>現在、当区において実施されている、北千住区域の「対策重点区域」における隅田川幹線及び千住関屋ポンプ所の整備事業等の1時間雨量50mm対応の施設整備の早期完了についても、引き続き東京都に要望してまいります。</p> <p>(担当所管：都市建設部 都市建設課)</p>
<p>質問の要旨 ②</p>	<p>2. また、将来にわたって、区民の命と生活の安全性向上のためには、広域的な視点からの取組が重要と考える。東京都では、この7月に「都市強靱化プロジェクト（仮称）の策定に向けた論点」を公表し、調節池等の整備や【高台まちづくり】の取り組みの方向性を示している。</p> <p>区は4地域で高台まちづくりに取り組むとしているが、区においても各地域の将来像などを示して、東京都のこのプロジェクトに対してしっかり連携していくべきと考えるが、今後の区の取り組み方と決意を伺う。</p>
<p>回 答 ②</p>	<p>高台まちづくりの取り組みや決意など、区の考え方についてお答えします。</p> <p>区としては、垂直避難先の確保のため、4地域の高台まちづくりを積極的に進めていく方針です。</p> <p>東京都の都市強靱化プロジェクト（仮）においても、「激甚化する風水害との闘いに、打ち克つ」と銘打って、高台まちづくりの推進が挙げられておりますので、区としても、まずは4つのモデル地区を中心に、都と一緒に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>既に、本年6月に関係機関とともに立ち上げた「あだち高台まちづくり推進協議会」において、各モデル地区の将来像や整備手法などを具体的に検討しております。引き続き、国や東京都等としっかり連携しながら進めてまいります。</p> <p>(担当所管：都市建設部 都市建設課)</p>